

〈本体商品の取付可否〉

オーディオの仕様	AVN2D一体機			インダッシュTV			オンダッシュTV	オーディオ (トレードイン)		
全車種	○ 注意 取付方法 注1	AVIC-ZH99系 *1 AVIC-ZH77	○ 注2	上段 下段	○	AVIC-VH99系 *1 (モニター部) 注意 取付方法 注2	○	○	1Dメイン ユニット	○
		AVIC-MRZ系 *2	○ 注3						2Dメイン ユニット	○ 注1
		SPH-DA09 SPH-DA05	○ 注3							

注1… 車両側取付部（上スペースと下スペースの仕切り部分）の切取加工が必要です（純正2Dサイズ一体機ラジオ付車は不要です）。
 注2… KJ-T50D①使用で取付可、取付キットのブラケットを14mm前出し取付けして取付けます（その他の取付キットでは取付けできません）。
 注3… KK-T39D⑧を使用して取付ける場合は、取付キットに付属のパネルがたわまないように、予め取付キットに付属の取付ケースのフック部（上下）を若干外側に広げておきます。

*1「AVIC-ZH99系」、「AVIC-VH99系」には、HUDモデルとCSモデルを含みます。但し、HUD（ヘッドアップディスプレイ）および、CS（クルーズスカウターユニット）の適合については別途確認が必要になります。また、実際の取付けにあたっては、販売店での取付けが必要となります。

- ・ HUD（ヘッドアップディスプレイ）の適合については、本Webのレフトメニューにあります「HUD（ヘッドアップディスプレイ）適合」にてご確認ください（適合情報がない車種は未調査となりますので、予めご承知おきください）。また、専用の取付確認ゲージなどで、ドライビングポジションにおける現車確認が必要になります。
- ・ CS（クルーズスカウターユニット、HUDモデルにも同梱）の適合については、角度ゲージにて、カメラ取付位置におけるフロントガラスの角度の確認が必要になります（水平から10°～50°の範囲内が適合）。

*2「AVIC-MRZ系」とは、AVIC-MRZ009、AVIC-MRZ007、AVIC-MRZ09Ⅱ、AVIC-MRZ07Ⅱ、AVIC-MRZ05Ⅱ、AVIC-MRZ03Ⅱの6モデルです。

※実際の取付けに際しては、以下の取付情報の詳細とともに十分な現車確認が必要になります。

〈本体商品の取付情報〉

年 式	型 式	車 種	最大取付数		本 体 の 取 付 方 法						オプション	
			トレードイン	アドオン	キット トレス	取付キット使用			備考	1D		2D
						型番	主な付属品	希望小売価格 (税込)		46 サイズ		46 サイズ
H9/8~H13/2	GF-GFEP GF-GFER GF-GF8P KD-GFFP	全車種	2D		×	KK-T39D⑧	■-E P	8,925円	注7,8	◎ 注6	◎ 注6	
			2D		×	KJ-T50D①	■-E P 注12	7,875円	注7,8,13	◎	◎	
			1D		×	KK-T38D⑧	■-E P	7,875円	注9,10	◎	×	
				1D	×	KK-T38D⑧	■-E P	7,875円	注9,10	◎	×	
			1D		×	KJ-T10D②	■-E P	5,775円	注9,11	◎	×	
				1D	×	KJ-T11D③	P	3,675円	注9,11	◎	×	

(注6) 1Dサイズの上オーバーラップ機構付の商品を取付ける場合は、キットに付属のパネル窓口の上または下がフラップ開閉時に少し当たりますので、パネル窓口を削る必要があります。
 (注7) アドオン取付けは不可で、車両側取付部（上スペースと下スペースの仕切り部分）の切取加工が必要。但し、純正2Dサイズ一体機ラジオ付車の場合には切取加工不要です。
 (注8) KK-T39D⑧、KJ-T50D①には配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。但し、純正2Dサイズ一体機ラジオ付車の場合には、ラジオ取外し工具（2個付属）は片側ずつ使用して外します（純正ラジオの機種によっては、取外し用穴の上下の間隔が合わず使用できない場合もあります）。
 (注9) 純正2Dサイズ一体機ラジオ付車の場合はKK-T38D⑧、KJ-T10D②、KJ-T11D③は使用不可（取付けにはKK-T39D⑧またはKJ-T50D①を使用します）。
 (注10) KK-T38D⑧には配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。KK-T38D⑧はDサイズ1機種取付用のキットですので、1D+1Dの取付けをする場合は、KK-T39D⑧を使用するかまたは、KK-T38D⑧を2セット使用します。
 (注11) KJ-T10D②には配線コネクタ、純正ラジオ取外し専用工具が同梱されています。KJ-T10D②はDサイズ1機種取付用のキットですので、1D+1Dの取付けをする場合は、KJ-T50D①を使用するかまたは、KJ-T10D②とKJ-T11D③を各1セット使用します。
 (注12) KJ-T50D①には、「標準取付（通常取付）」用化粧パネルに加え、「14mm前出し取付」用化粧パネルが付属されています。
 (注13) KJ-T50D①は、「標準取付（通常取付）」に加え、「14mm前出し取付」にも対応したキットで、取付けるカーステレオの配線・端子等が車両側に当たる場合は、14mm前に出して、付属の「14mm前出し取付化粧パネル」を使用し、（パネル加工せずに）取付けることが可能です。

※取付情報の記号の意味を次ページに掲載しています。

〔主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源 (ACC、常時、イルミネーション)		 接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。	P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

〔別売オプション関係の記号〕 …… マツダ車

	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
	マツダ車用配線キット KJ-T24P [㊦] が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。 [㊦] は24P車用でKJ-T24P [㊦] (2,625円、税込) の適応車種です。
	マツダ車用配線キット KT-12P [㊧] が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。 [㊧] は12P車用でKT-12P [㊧] (2,625円、税込) の適応車種です。 特に、オートアンテナ装備車の場合にKT-12P [㊧] を使用する場合には、オートアンテナ電源用リレーが付属されていますので大変便利です (車種によっては電源リレーを使用しないとオートアンテナが動作しません)。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コード RD-AN33 (2,100円、税込) を使用します。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II [㊨] (12,600円、税込) がシート取付ボルト部に取付可能です (車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II [㊨] 付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注) … KW-27V II [㊨] は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方および、基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付可否〉

●取付可能なカスタムフィットスピーカー

取付場所	取付方法	Vシリーズ	Cシリーズ	Jシリーズ	FSシリーズ	Fシリーズ
フロント・ドア	○ 別売品は不要 (付属品で取付可)	—	TS-C5710A	—	—	—
	× 別売の 取付キット使用	—	—	—	—	—
	× 別売のインナー バッフル使用	—	—	—	—	—
リア・トレイ	○ 別売品は不要 (付属品で取付可)	—	—	TS-J6910A	—	—
	× 別売の 取付キット使用	—	—	—	—	—
	× 別売のインナー バッフル使用	—	—	—	—	—

●取付可能なサテライトスピーカー

TS-STH1000	TS-STH700	TS-STX510
—	—	—

※実際の取付けに際しては、次ページの取付情報の詳細とともに十分な現車確認が必要になります。

